

次世代高度医療推進センター特別講演

日時 平成26年1月24日(金) 17:00-19:30

場所 第二中央診療棟2階 会議室(2)

「小児を対象とした臨床研究における倫理的配慮」

同意能力が十分ではない小児を対象とした臨床研究を実施する際には、患者本人の利益を代弁する立場の代諾者から同意を得るなど、さまざまな倫理的配慮が求められる。本講演では、弱者保護の観点から小児を対象とした臨床研究を実施する際の倫理的配慮について概説する。

講師:掛江 直子先生

(国立成育医療研究センター 社会・臨床研究センター
政策科学研究部 保健政策科学研究室長)

「小児希少疾患治療薬の臨床試験 ～ムコ多糖症脳室内酵素補充療法の治験を中心に～」

ムコ多糖症II型の酵素補充療法が開始されて5年が経過した。酵素の静脈内投与により、関節可動域の正常化、6分間歩行距離の延長など全身状態の劇的な改善が得られるが、精神運動発達遅滞や神経退行などの中枢神経症状の改善は期待できない。この問題を克服するため、我々は酵素の脳室内投与による中枢神経症状の改善を目的とした医師主導治験の実施を計画している。本講演では、この治験を実施するに至った背景と今後の治験の進め方について概説する。

講師:奥山 虎之先生

(国立成育医療研究センター 臨床検査部長 ライソゾーム病センター長)

主催:文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業」

次世代高度医療推進センター/遺伝子診療科/生命機能研究支援センター
治験管理センター/ワークライフバランス支援センター

お問い合わせ:次世代高度医療推進センター

Email:ngmc@med.tottori-u.ac.jp

内線:6745